

Outstanding Reviewer award 2026 表彰によせて

日本小児神経外科学会 編集委員会

委員長 山本 哲哉

『小児の脳神経』は言うまでもなく我々小児神経外科学会の機関紙であり、脳神経外科領域では数少ない査読付き邦文医学雑誌となっています。小児神経外科の診療は身近な臨床の疑問としての CQ にあふれており、この領域の専門家による原著論文のみならず、多くの脳神経外科医が研修医時代に、小児のケースをテーマにした論文に取り組むことで、アカデミックスキルの基礎をつくってきたと考えています。

レビューアワード『Outstanding Reviewer award』の創設は毎年の本誌査読を中心的に担っている編集委員のメンバーから委員会の中で発議されました。『小児の脳神経』では、特に教育的な査読を行うことをポリシーとしており、様々な質問や修正依頼、提案を通して、著者の皆さんと協働して論文を仕上げていく体制をとっております。その背景として、『小児の脳神経』が論文執筆の最初の入り口である場合が少なくないことや、関連して専門医試験の申請要件として使用されること、大学であってもこども病院であっても、理想的な指導体制が常にとられているわけではないこと、などを考慮しています。

『Outstanding Reviewer award』は査読数のみならず、過去の実績、実際の指導での著者とのやり取りの内容も検討し、特に優れた査読者に贈られます。今回受賞されたお二人には編集委員長として心からの感謝をお伝えするとともに、編集委員会全体として、小児神経外科領域の発展と若手育成に貢献できるよう、引き続きご指導いただけるようお願い申し上げます。